

表13-4-k 水産関係公共事業に係る期中の評価の結果一覧

平成20年度 期中の評価結果（水産基盤整備事業）

事業名	地域水産物供給基盤整備事業
評価担当部局	漁港漁場整備部 計画課 企画班

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施予定期間 (既投資期間)	総事業費 (既投資事業費) (百万円)	事前評価	期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果	
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)			総費用額 C (百万円)
京都府	イネホクブ 伊根北部 地区	京都府	H13～H20 (H13～H19)	977 (977)	1.06	1.04	1,230	1,180	水産物生産コストの削減効果：41 漁獲可能資源の維持・培養効果：1 漁業就業者の労働環境改善効果：7 漁業外産業への効果：2	<p><事業の中止> 当該事業は、沖合の好漁場に恵まれ漁業が主幹産業となっている地域において、防波堤、岸壁等の整備により、漁業作業環境の向上、陸揚げ岸壁の確保等を図るものであるが、近年、主要漁業の一つである定置網漁業の廃業等により漁港の利用者が大幅に減少することが明らかとなったため、計画を見直す必要が生じた。 既に整備を完了した地区に対しては、費用便益比率が1.0を超えているなど一定の効果が認められたものの、今後大幅な利用者増が見込まれないことから、事業の中止は妥当であると判断された。</p>
高知県	ナハリ 奈半利地区	高知県	H14～H23 (H14～H20)	2,234 (961)	1.97	1.23	2,824	2,295	水産物生産コストの削減効果：148	<p><計画の見直し> 当該事業は、陸揚げ・流通拠点港としての役割を期待される地区において、沖防波堤、係留施設等の整備を行い、漁業活動の安全性・効率性の確保と就労環境の改善を図るものであるが、カツオ漁の不漁等により、防波堤背後の静穏域を活用した活餌の畜養場としての利用見込みが大幅に減少したことなどから、沖防波堤の整備位置をより経済的なものに見直し、事業の早期完了を図ることとした。 見直し後の計画については、漁業活動の安全性・効率性の確保のために必要性が高いこと、見直し後の計画について費用便益比率が1.0を超えていることなどから、事業の見直し継続は妥当であると判断された。</p>

平成20年度 期中の評価結果（水産基盤整備事業）

事業名 広域漁港整備事業

評価担当部局 漁港漁場整備部 計画課 企画班

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施予定期間 (既投資期間)	総事業費 (既投資事業費) (百万円)	事前評価		期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)	総費用額 C (百万円)		
香川県	ヒケタ 引田地区	香川県 東かがわ市	H13～H20 (H13～H20)	997 (997)	1.71	1.10	1,349	1,228	水産物生産コストの削減効果 24 漁獲可能資源の維持・培養効果 17 漁業就業者の労働環境改善効果 7 漁業外産業への効果 24	<事業の中止> 本事業は、外郭・係留施設等の整備を行うとともに増殖場整備を行い、地域の主要な産業である漁業の振興等を図るものであるが、近年、養殖業が主力となり海面漁業者が減少していることから、計画を見直す必要が生じた。 既に整備を完了した地区に対しては、費用便益比率が1.0を超えているなど一定の効果が認められたものの、海面漁業の減少等の影響から、事業の中止は妥当であると判断された。
長崎県	アラカワ 荒川地区	長崎県	H14～H21 (H14～H20)	423 (340)	1.27	1.19	639	537	水産物生産コストの削減効果：27 漁業就業者の労働環境改善効果：4	<計画の見直し> 当該事業は、係留施設の整備・補修により荒天時の係留施設の不足を改善し、漁業活動の円滑化、安全性の向上等を図るものであるが、陸揚量、利用漁船が減少し、今後も増加の見込みがないことから、計画を見直す必要が生じた。 見直し後の計画については、漁業活動の円滑化、安全性の向上を図るうえで必要性が高いものだけにスリム化され、費用便益比率も1.0を超えていることから、事業の見直し継続は妥当であると判断された。

平成20年度 期中の評価結果（水産基盤整備事業）

事業名	漁業集落環境整備事業
-----	------------

評価担当部局	漁港漁場整備部 防災漁村課 漁村企画班
--------	---------------------

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施予定期間 (既投資期間)	総事業費 (百万円)	事前評価	期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)		
福岡県	フィラ地区	北九州市	H10～H21 (H10～H20)	2,111 (2,091)	-	1.37	3,770	2,757	<p>（計画の見直し）</p> <p>当該地区は、道路の整備が立ち後れ、漁業活動や生活に支障を来していることから施設整備を図る必要がある。</p> <p>なお、計画策定時と比較して、電線地中化について「漁業集落周辺は電柱があり、調和のとれた整備水準であるべき」と市再評価委員会から一部意見があり、再検討した結果、土地利用高度化再編整備の計画を見直すこととした。</p> <p>見直し後の計画については、費用効果分析においても1.0を上回っていることから事業の見直し継続が妥当であると判断される。</p>
長崎県	アウラ地区	佐世保市	H10～H21 (H10～H20)	570 (554)	-	1.22	585	479	<p>（事業の継続）</p> <p>当該地区は、道路の整備が立ち後れ、漁業活動や生活に支障を来していることから施設整備を図る必要がある。</p> <p>また、費用効果分析においても1.0を上回っていることから事業の継続が妥当であると判断される。</p>

平成20年度 期中の評価結果（水産基盤整備事業）

事業名 漁港環境整備事業

評価担当部局 漁港漁場整備部 防災漁村課 漁村企画班

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施予定期間 (既投資期間)	総事業費 (百万円)	事前評価		期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)	総費用額 C (百万円)		
長崎県	ナガサキ 長崎地区	長崎県	S63～H21 (S63～H20)	1,193 (1,124)	-	1.25	2,708	2,161	生活環境向上効果：126	<p>(計画の見直し)</p> <p>当該地区は、漁業者の就労改善や地域住民の生活環境の改善に資するものであり、さらに都市と漁村の交流・対流に資することから、有効であると判断される。</p> <p>なお、周辺での大規模団地開発に伴い、都市公園が整備されたことから再検討した結果、漁港環境施設の計画を一部見直すこととした。</p> <p>見直し後の計画については、費用効果分析においても1.0を上回っていることから事業の見直し継続が妥当であると判断される。</p>

平成20年度 期中の評価結果 (海岸事業)

事業名 海岸保全施設整備事業 (高潮対策事業)

評価担当部局 漁港漁場整備部 防災漁村課 海岸班

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施期間 (既投資期間)	総事業費 (既投資額) (百万円)	事前評価	期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果	
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)			総費用額 C (百万円)
岩手県	山田漁港海岸	岩手県	S61~H25 (S61~H20)	3,989 (3,238)	-	30.44	170,349	5,596	浸水防護便益: 9,506	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、背後に国道45号線や、山田町の中心市街地を形成し、数多くの人家が密集している。地区内には、小中高等学校等の教育施設や、医療機関、ユニティセンター等主要な公共施設等が数多く存在している。既設の海岸保全施設は、昭和35年チリ地震津波対応 (T.P+4.00m) であり、明治29年及び昭和8年の三陸大津波における既往最高潮位 (T.P+6.60m) には対応しておらず、発生 の切迫性が指摘されている地震に伴う津波対策が求めら れている。</p> <p>本事業は、既存の海岸保全施設の改良を行うことによ り、津波等から人命・財産を防護することを目的とした 事業であり、計画通りの進捗状況であること、地元から の要請が強いこと、費用便益比率が1を超えていること から、事業の継続が妥当である。</p>
岩手県	大船渡漁港海岸	岩手県	H9~H27 (H9~H19)	1,949 (739)	-	1.94	5,501	2,836	浸水防護便益: 337	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、昭和35年のチリ地震に伴う津波被害をはじめとして、津波被害の履歴がある地区であり、海岸の背後には、家屋や水産加工工場等が多い。一方で津波から地区を防護する防潮堤については整備が遅れていたが、近年なされている政府の被害想定で津波被害が予想され、住民の防潮堤に対する整備の要請が出てきている。</p> <p>本事業は、防潮堤を整備し、背後集落への津波等による浸水から人命・財産の防護を図ることを目的としており、計画通り進捗していること、費用効果分析が1.0を越えること等から、事業の継続が妥当である。</p>
宮城県	気仙沼漁港海岸	宮城県	H1~H30 (H1~H20)	2,088 (1,271)	-	199.73	520,939	2,608	浸水防護便益: 21,583	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、宮城県の北東部に位置した海岸であり、背後地には人家や水産加工工場等が密集している。三陸沿岸特有のリアス式海岸を形成する気仙沼湾の湾奥部に位置することから、明治及び昭和三陸津波やチリ地震津波により被害を受けている。</p> <p>南町・魚市場地区は魚市場等の水産施設が存在し利便性・景観性の観点から、地域の同意を得るのが困難で海岸保全施設が未整備となっていたが、近年発生すると予想される宮城県沖地震により発生する津波被害が懸念され、地元からも対策の要望が出ている。</p> <p>本事業は、胸壁等の整備を行うことにより、高潮、津波による越波を防止し、地域住民の生命・財産への被害防止を図ることを目的としており、地元からの要望も強いこと、費用便益比率が1を超えていること等から、事業の継続が妥当である。</p>

平成20年度 期中の評価結果（海岸事業）

事業名 海岸保全施設整備事業(高潮対策事業)

評価担当部局 漁港漁場整備部 防災漁村課 海岸班

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施期間 (既投資期間)	総事業費 (既投資額) (百万円)	事前評価	期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果	
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)			総費用額 C (百万円)
山口県	佐賀漁港海岸	平生町	H4~H27 (H4~H20)	1,962 (881)	-	17.35	37,354	2,153	浸水防護便益：1,407	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、山口県の東南部、室津半島の付け根の西に位置し、海岸延長7,581mを有している。当海岸保全区域は6地区に分かれ、背後には18の集落が既存している。既設の護岸の背後には、県道、町道、住宅等があり、暴風や高潮時には越波等により住民生活へ支障が発生している。</p> <p>本事業は、離岸堤や護岸の整備を行い、高潮や越波から背後集落の安全を確保することを目的としており、地元からの意向が強いこと、費用便益比率が1を超えていること等から、事業の継続が妥当である。</p>
山口県	和田漁港海岸	周防大島町	H5~H27 (H5~H20)	1,214 (1,006)	-	2.68	4,045	1,507	浸水防護便益：204	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、山口県の東部、屋代島の東に位置し、海岸線延長10,711mを有している。当海岸は4地区に海岸保全区域があり、既設の護岸は高潮からの防護に必要な高さを確保していないため、近年の台風の大型化や幾多の台風の襲来により、高潮災害が発生しており、背後集落等の安全性が低下している等の問題がある。</p> <p>本事業は、離岸堤等の整備を行うことにより、高潮、高波による浸水を防止することにより、国土の保全、地域住民の安全の確保を図ることを目的としており、地元からの要望も強いこと、費用便益比率が1を上回っていることから、事業の継続が妥当である。</p>
山口県	森野漁港海岸	周防大島町	H6~H27 (H6~H20)	2,087 (1,596)	-	6.60	17,869	2,709	浸水防護便益：879	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、山口県の東部、屋代島の東に位置し、海岸線延長6,611mを有している。当海岸は4地区に海岸保全区域があり、護岸は既に整備されているが、高潮による被害を防ぐだけの天端高を確保していないため、近年の台風の大型化や幾多の台風の襲来により、高潮災害が多発しており、背後集落等の安全性が低下している等の問題がある。</p> <p>本事業は、離岸堤等の整備を行うことにより、高潮、高波による浸水に対する地域住民の安全を確保することを目的としており、計画どおり進捗していること、地元からの要望も強いこと、コスト削減の検討や代替案の検討を行っていること、費用便益比率が1を上回っていることから、事業の継続が妥当である。</p>

平成20年度 期中の評価結果 (海岸事業)

事業名 海岸保全施設整備事業 (高潮対策事業)

評価担当部局 漁港漁場整備部 防災漁村課 海岸班

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施期間 (既投資期間)	総事業費 (既投資額) (百万円)	事前評価	期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果	
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)			総費用額 C (百万円)
山口県	白木漁港海岸	周防大島町	H5~H27 (H5~H20)	1,234 (684)	-	4.87	7,153	1,467	浸水防護便益: 286	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、山口県の東部、屋代島の中央よりやや東側に位置し、海岸線延長12,843mを有している。既設の護岸は高さが不十分であり、近年の台風の大型化や幾多の台風の襲来により高潮災害が多発しており、背後集落等の安全性が低下している等の問題がある。</p> <p>本事業は、離岸堤等の整備を行うことにより、高潮、高波による浸水を防止し、地域住民の安全を確保することを目的としており、地元からの要望も強いこと、費用便益比率が1を上回っていることから、事業の継続が妥当である。</p>
山口県	鳴門漁港海岸	柳井市	H10~H22 (H10~H20)	1,621 (1,205)	-	39.14	75,940	1,940	浸水防護便益: 4,060	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、山口県山口南沿岸柳井ゾーンの中央部に位置する南側に面した海岸であり、背後地には人家、公共施設が密集するほか、主要なアクセス道である国道188号線とJR山陽本線が海岸線に平行して位置している。冬季風浪や、台風による高潮により背後の人家に甚大な被害が発生しており、また、既存施設の老朽化が進むなどの課題がある。</p> <p>本事業は、護岸等海岸保全施設の整備を行うことにより、高潮、高波による越波を防止し、地域住民の生命・財産への被害防止を図ることを目的としたものであり、地元からの要望も強いこと、費用便益比率が1を超えていることから、事業の継続が妥当である。</p>
徳島県	椿泊漁港海岸	徳島県	S61~H35 (S61~H20)	5,100 (3,203)	-	8.75	49,899	5,700	浸水防護便益: 1,693	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、阿南市東部の椿泊半島北側の椿泊町に位置しており、急峻な山が海に迫る狭隘な土地に人家が密集している。また、津波の影響を受けやすいV字型湾に位置しており、既設護岸はほとんどが昭和30年代に整備されたため、現在では老朽化が進んでいる。</p> <p>本事業は、護岸の整備を行うことにより高潮、高波による越波を防止し、地域住民の生命・財産への被害防止を図ることを目的としており、費用便益比率が1を超えており、地元からの要望も強いことから、事業の継続が妥当である。</p>

平成 20 年度 期中の評価結果（海岸事業）

事業名	海岸保全施設整備事業(侵食対策事業)
-----	--------------------

評価担当部局	漁港漁場整備部 防災漁村課 海岸班
--------	-------------------

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施期間 (既投資期間)	総事業費 (既投資額) (百万円)	事前評価	期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果	
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)			総費用額 C (百万円)
新潟県	荒浜漁港海岸	柏崎市	H10~H34 (H10~H20)	2,467 (580)	-	3.28	7,156	2,185	浸水防護便益：2,567	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、新潟県柏崎市沿岸のほぼ中央部に位置し、北西に面した海岸である。海岸の背後は住宅地であり、主要なアクセス道である国道352号が位置している。しかし、冬季には北西からの季節風による風浪が激しく、海岸侵食や背後の人家に飛沫・飛砂の被害が出ている。</p> <p>本事業は、離岸堤の整備を行うことにより、高潮、高波による越波・侵食を防止し、地域住民の生命・財産への被害防止を図ることを目的としており、事業に対する地元からの要望も強いこと、離岸堤整備箇所にはトンボ口が形成され、期待する侵食防止効果が発現していること、費用便益比率が1を超えていることから、事業の継続が妥当である。</p>
新潟県	大和川漁港海岸	糸魚川市	S47~H22 (S47~H20)	5,125 (4,525)	-	1.83	17,924	9,792	浸水防護便益：902	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、新潟県南西部で富山県との県境近くに位置する糸魚川市管理の海岸で、背後地には住宅・事業所が密集するほか、市立大和川小学校・国道8号・JR北陸本線等、重要な公共施設が位置している。当海岸は冬期風浪が激しく、砂浜の侵食や越波による被害が生じており、住民は大きな不安を抱いている。</p> <p>本事業は離岸堤の整備を行うことにより、砂浜の侵食・越波を防止し、地域住民の生命・財産の安全確保・国土の保全を図ることを目的としており、計画通り進捗していること、地元からの事業継続の要望が強いこと、離岸堤整備箇所は侵食・越波防止効果が顕著に現れていること、費用便益比率が1を超えていることから、事業の継続が妥当である</p>
石川県	曾々木漁港海岸	輪島市	H5~H24 (H5~H20)	970 (806)	-	1.23	1,568	1,274	侵食防護便益：41 飛沫防護便益等：45	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、冬季風浪が激しい日本海に面した遠浅な海岸であり、背後地には人家や商店が多数存在し、主要なアクセス道である国道が位置している。平成16年災害による侵食では船小屋3棟を流失しており、一般家屋の直ぐ背後まで侵食され、冬季には越波や飛沫による被害を受けており、背後地の安全性が低下している。</p> <p>本事業は、人工リーフの整備を行うことにより、侵食を防止し地域住民の生命・財産への被害防止を図ることを目的としたものであり、事業の進捗は遅れているものの、地元からの要望が強いこと、費用便益比率が1を超えていることから、事業の継続が妥当である。</p>

平成 20 年度 期中の評価結果 (海岸事業)

事業名	海岸保全施設整備事業 (侵食対策事業)
-----	---------------------

評価担当部局	漁港漁場整備部 防災漁村課 海岸班
--------	-------------------

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施期間 (既投資期間)	総事業費 (既投資額) (百万円)	事前評価	期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果	
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)			総費用額 C (百万円)
愛知県	赤羽根漁港海岸	愛知県	S55~H24 (S55~H20)	6,619 (5,499)	-	3.29	37,579	11,408	海岸環境保全便益：827 侵食防護便益：297	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、我が国有数の長大な砂浜が続く漂砂海岸である遠州灘沿岸のうち、愛知県渥美半島の中央部に位置し、年間を通じてサーフィンや海釣りなどの海洋性レクリエーションの場として親しまれている。海岸線は全延長に渡って高さ20~30mにおよぶ海食崖が連続し、その背後地は防潮林、畑地があり、その中に民家が点在している。また、背後には当地域の幹線道路である国道42号線が通っており、国道沿いのビニハウスでは地区の特色である電照菊の栽培が行われている。近年上流からの砂の供給量が減少したために砂浜が波浪によって顕著に侵食されるようになり、やがては護岸背後地まで侵食される恐れが発生した。</p> <p>本事業は、離岸堤等の整備を行い、海岸の波浪軽減や侵食防止による国土の保全を目的とした事業であり、離岸堤完成箇所においては砂浜の回復が顕著に見られ、整備効果が確実に現れていること、地元からの整備要請が強いこと、費用対効果が1.0を超えていること等から、事業の継続が妥当である。</p>
島根県	津田漁港海岸	益田市	H9~H25 (H9~H19)	970	-	1.63	1,889	1,156	侵食防護便益：107	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、冬季の強い季節風により発生する高波浪により侵食を受け、海岸線の後退が顕在化しており、背後地の人命及び財産の防護の確保が課題となっている。</p> <p>本事業は、離岸堤の整備を行うことにより、海岸侵食から背後地の人命・財産を防護することを目的としたものであり、地元からの要望が強いこと、費用便益比率が1を超えること等から、事業の継続が妥当である。</p>

平成 20 年度 期中の評価結果(海岸事業)

事業名	海岸環境整備事業
-----	----------

評価担当部局	漁港漁場整備部 防災漁村課 海岸班
--------	-------------------

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施期間 (既投資期間)	総事業費 (既投資額) (百万円)	事前評価		期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)	総費用額 C (百万円)		
北海道	福島漁港海岸	北海道	H5~H23 (H5~H20)	3,617 (3,165)	-	6.50	30,444	4,683	浸水防護便益：1,567	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、北海道渡島南沿岸の南側白神岬付近に位置し、津軽海峡に面した侵食性の強い海岸で、背後には人家、事業所が密集するほか、主要なアクセス道である国道228号線につながる道道岩部渡島福島停車場線が、海岸線に沿って整備されている。</p> <p>昭和31年度以降護岸、消波工、離岸堤等が整備されているが、冬期風浪等が激しく背後用地に越波や飛沫による被害がたびたび発生している。</p> <p>本事業は、突堤、潜堤、養浜等の整備を行うことにより、高潮、高波による越波を防止し、地域住民の生命、財産への被害防止を図るとともに海浜を復元し海と親しむ憩いの場の創出を目的としており、地元からの要望も強いこと、断面比較等コスト縮減の取り組みを図っていること、費用便益比率が1を超えていることから、事業の継続が妥当である。</p>
北海道	美園漁港海岸	北海道	H5~H24 (H5~H20)	2,360 (1,650)	-	1.25	3,681	2,955	浸水防護便益：177 海岸利用便益：24	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は日本海に面しニセコ・積丹・小樽海岸国定公園内に位置した風光明媚で雄大な自然に恵まれた海岸であるが、低気圧等により被害が発生し易い侵食性の海岸で、海浜が急に深くなっており安全性に乏しい状況であった。</p> <p>既設護岸が整備されているが、その後も冬期風浪等により浸水被害がたびたび発生している。</p> <p>本事業は、護岸・突堤などの整備により波浪による侵食や浸水を防止し民生の安定を図るとともに、海岸背後の小泊野営場等を核とした人と自然の共存を目指した総合レクリエーションの場として砂浜等のある海岸空間の創出を目的としており、外設施設の進捗が進んでいること、海水浴・キャンプ等のアウトドレジャーの場として地元より強く期待されていること、費用便益比率が1を超えていることから、事業の継続が妥当である。</p>

平成 20 年度 期中の評価結果 (海岸事業)

事業名	海岸環境整備事業
-----	----------

評価担当部局	漁港漁場整備部 防災漁村課 海岸班
--------	-------------------

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施期間 (既投資期間)	総事業費 (既投資額) (百万円)	事前評価	期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果	
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)			総費用額 C (百万円)
和歌山県	田辺漁港海岸	和歌山県	H5~H30 (H5~H20)	6,855 (4,606)	-	20.61	165,493	8,031	浸水防護便益：11,403	<p>計画の見直し</p> <p>当海岸は紀州灘沿岸に属し、田辺市街地に隣接した田辺湾の中央に位置し、背後には扇ヶ浜公園、西側に景勝地となっている天神崎、対岸には近畿有数の白浜温泉があり豊かな自然環境に恵まれている。また、海水浴や市民の散策などに利用され、憩いの場として親しまれている。</p> <p>こうした景観を持つ海岸であるが、年々砂浜の侵食が進み、高潮時には砂浜が水面下となり、波浪に対する防護効果がなくなり、防潮堤の被災や越波による浸水の恐れが生じてきている。</p> <p>本事業は、台風時の越波・浸水被害の防止、砂浜の侵食被害の防止を図るとともに、併せて海水浴等の海岸利用に供することを目的としたものであり、環境施設については、田辺湾沿岸の海水浴客数などから社会情勢に見合った規模に縮小する必要があるが、背後地域の防護の必要性は変わっていないこと、引き続き地元からの要望があること、費用便益比率が1を超えていることから、計画を見直し継続することが妥当である。</p>
岡山県	沙美漁港海岸	岡山県	H6~H24 (H6~H20)	1,450 (1,271)	-	6.82	13,249	1,941	浸水防護便益：721	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、岡山県岡山沿岸の倉敷市に位置し、「日本の海水浴場発祥の地」として、地元はもとより県内各地から多くの海水浴客が訪れ、地域の活性化に寄与している。また、平成16年の台風16号により浸水被害を受け、県内各漁港において既往最高潮位を記録したことを受け、浸水からの防護が課題となっている。</p> <p>本事業は、養浜により砂浜の整備を行うことで、失われた砂浜を復元すると同時に、高潮、高波による越波を防止し、地域住民の生命・財産への被害防止を図ることを目的としており、進捗は計画より遅れているが、地元住民の要望が強いこと、費用便益比率が1を超えていることから、事業の継続が妥当である。</p>

平成 20 年度 期中の評価結果(海岸事業)

事業名	海岸環境整備事業
-----	----------

評価担当部局	漁港漁場整備部 防災漁村課 海岸班
--------	-------------------

都道府県名	地区名	事業主体	事業実施期間 (既投資期間)	総事業費 (既投資額) (百万円)	事前評価		期中の評価		主な便益項目 (百万円/年)	評価の結果
					費用便益比率 B/C	費用便益比率 B/C	総便益額 B (百万円)	総費用額 C (百万円)		
岡山県	白石島漁港海岸	岡山県	H6~H25 (H6~H20)	1,900 (1,482)	-	2.42	5,953	2,458	浸水防護便益: 337	<p>事業の継続</p> <p>当海岸は、岡山県西部、笠岡諸島の白石島に位置し、夏には県外からの修学旅行者も訪れる等、離島振興の拠点として地域の活性化に寄与しているほか、前面にはアマモ場の分布が確認されており、魚介類の産卵・保育場としての機能を果たしている。平成16年の台風16号により浸水被害を受け、県内各漁港において既往最高潮位を記録したが、当海岸においても浸水被害が発生している。</p> <p>本事業は、養浜により砂浜の整備を行うことで、失われた砂浜を復元すると同時に、高潮、高波による越波を防止し、地域住民の生命・財産への被害防止を図ることを目的としており、進捗は計画より遅れているが、地元からの要望があること、費用便益比率が1を超えていることから、事業の継続が妥当である。</p>

本資料は、農林水産省ホームページで公表されている評価結果を複写したものである。